

# 木津川 あるきの 便利帳



## 木津川市主要施設

木津川市役所 木津川市木津南垣外 110 番地 9	(代表)TEL 0774-72-0501
木津川市加茂支所 木津川市加茂町里南古田 156 番地	TEL 0774-76-3611
木津川市山城支所 木津川市山城町上狛北的場 3 番地 1	TEL 0774-86-2300
木津川市西部出張所 (イオン高の原ショッピングセンター内) 木津川市相楽台 1 丁目 1 番地 1	TEL 0774-72-6770
木津川市山城行政サービスコーナー (山城図書館内) 木津川市山城町平尾前田 24 番地	TEL 0774-86-5001
公立山城病院 木津川市木津池田 74 番地 1	TEL 0774-72-0235
木津警察署 木津川市木津南垣外 15 番地	TEL 0774-72-0110
相楽中部消防本部 木津川市木津白口 10 番地 2	TEL 0774-72-2119

## 観光案内情報

NPO法人 ふるさと案内・かも  
TEL・FAX 0774-76-3989  
<http://www.ne.jp/asahi/furusatoannai/kamo/>

山城町ふるさと案内人の会  
FAX 0774-86-5025  
<http://www.geocities.jp/yamashiroannai/>



木津川市観光商工課  
木津川市木津南垣外 110 番地 9  
TEL 0774-75-1216  
<http://www.city.kizugawa.lg.jp/>



社団法人 木津川市観光協会  
木津川市州見台 1 丁目 1 番地 1  
ガーデンモール木津川 2 階  
TEL 0774-73-8191・FAX 0774-73-8136

木津川市の観光情報などがいっぱい! お越しの前には是非御覧下さい!  
<http://www.0774.or.jp/>



# 木津川あるきの便利帳

いにしえの歴史が薫る文化創造都市を訪ねる



釈迦如来坐像（蟹満寺）



餅花（相楽神社）



恭仁宮跡



## 木津川市の紹介

木津川市は、平成19年3月12日に木津町・加茂町・山城町が合併し誕生しました。京都府最南部の山城地域にあり、南は奈良県奈良市と接し、市内中央には木津川の清流がほぼ東西に流れています。原始古代から人々の営みがみとめられ、木津川の水運や渡来人により伝えられた高い文化・技術が育った地です。奈良時代の天平年間には聖武天皇が平城京から現在の木津川市に都を遷し、恭仁京(くにきょう)として5年にわたり日本の首都となりました。近年は、永い豊かな歴史のうえに関西文化学術研究都市としての開発がすすめられています。茶の栽培も古く、大都市近郊の立地条件を生かした近郊農業も盛んで、いにしえからの遺産に最先端の英知を有する未来志向の国際・文化創造都市としての素地を固めています。

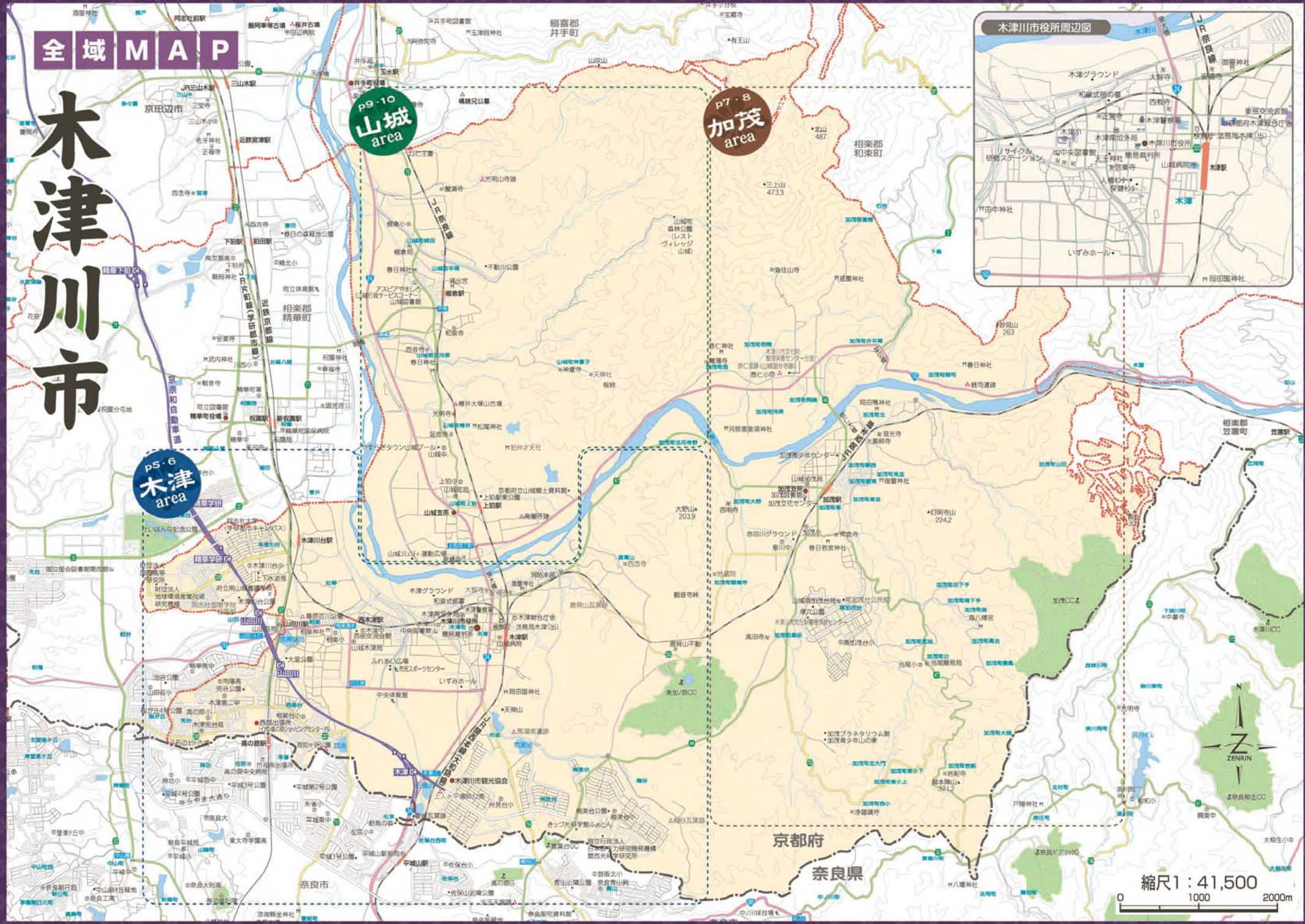
市内には、浄瑠璃寺本堂や塔・庭園、海住山寺五重塔、蟹満寺釈迦如来坐像、神意寺本堂をはじめとして、京都府内では京都市に次いで多くの国宝・重要文化財があり、文化財の宝庫といわれています。当尾石仏の道や山背古道など、歴史情緒あふれる多くの散策コースがあります。また居籠祭(涌出宮)、餅花(相楽神社)、木津御輿祭(御霊神社など)、おかげ踊り(白山神社)など四季折々の伝統行事が継承されています。いにしえのロマン溢れるまちの魅力を訪ねて歩いてみませんか。

## もくじ

木津川市の紹介・もくじ	1・2
木津川市全域 Map	3・4
木津エリア スポット・おすすめハイキングコース	5・6
加茂エリア スポット・おすすめハイキングコース	7・8
山城エリア スポット・おすすめハイキングコース	9・10
歳時記(春・夏)	11 12
歳時記(秋・冬)	13 14
特産品/学ぶ・遊ぶ	15 16
きづがわ歴史探訪	17・18
恭仁宮	19・20
学研都市/アクセス・主要施設	21 22

全域MAP

木津川市



縮尺 1 : 41,500  
 0 1000 2000m



# area 木津

いにしへの息吹を体感する・・・

## 相楽神社

MAP B-2

江戸時代までは八幡宮と呼んでいました。現在は、本殿(重要文化財)、末社5社豊八幡神社、拝殿、南北氏詰所、社務所、客殿、四足門、鳥居等で構成されています。建立年代は詳らかではありませんが、様式手法から室町時代初期(南北朝)と見られ、よく時代を表しているといえます。また、和様の細部に申し唐様と大仏様の手法を加えているところなど注目すべきものをもっています。



相楽神社

## 石のカタ古墳

MAP A-3

木津川市と奈良市の境、標高112mの丘陵緩斜面に築造された上円下方墳で、国の史跡に指定されています。立地から平城京遷都に関係する皇族の墓ではないかといわれています。



## 安福寺

MAP C-1



開基は「往生要集」を著した恵心僧都と伝えられています。平重衡(たいらのしげひら)命終の引導仏と伝えられる本尊「阿彌陀如来坐像」がある本堂は「寂堂(あわんどら)」と呼ばれ、境内には重衡供養塔と云われる「十三重石塔」があり、近くに重衡にかかわる「首洗池(くびあらいいけ)」や「ならす柿」もあります。



先人からの贈り物。その想いに触れてみる。

## 大智寺

MAP C-1



奈良時代に行基によって木津川(旧名:泉川)に架けられた泉大橋は、後に流れ落ちましたが、鎌倉時代に至って、残っていた橋柱から文殊菩薩を刻みだし、伽藍を建立して安置したのが現在の大智寺の前身の橋柱寺と言われていました。その後衰退しますが、寛文9年(1669)東福門院の下賜によって本刹が中興、橋柱山大智寺と改号しました。

### ◆大智寺 伽藍(府登録文化財)

### ◆大智寺 十一面観音立像(重要文化財)

南山城地方で江戸時代中期(寛文期)の伽藍がこれだけ残るのは貴重として登録文化財となりました。木津川左岸の泉大橋の南に伽藍を構え、境内は西に山門、山門からの参道正面に西面して本堂、参道の北側に鐘樓堂、本堂北側からの渡り廊下で接続された庫裏が南面して配置される小規模な構成となっています。

平安時代の10世紀末に作られた像高109.1cm、一木造の像です。穏やかな表情、腕釧(わんせん・腕飾り)を一木から刻みだし、体に内刻(うちくり)もない点に古様が認められます。

### ◆大智寺 文殊菩薩坐像(重要文化財)

鎌倉時代、弘安(1278~1288)年間に作られた高さ65.2cmの寄木造の像です。唐風の服をまとい、左手に経巻をのせた蓮華で、右手に宝剣を持ち、左足を垂らし獅子の上の蓮華座に坐っています。



## 岡田国神社

MAP C-2

旧社殿は舞台を中心に拝殿・氏子詰所を配する相楽郡地域に伝わる社殿配置形態をとどめています。室町時代の惣の社の姿を伝える重要なものです。



旧社殿(府登録文化財)



拝殿

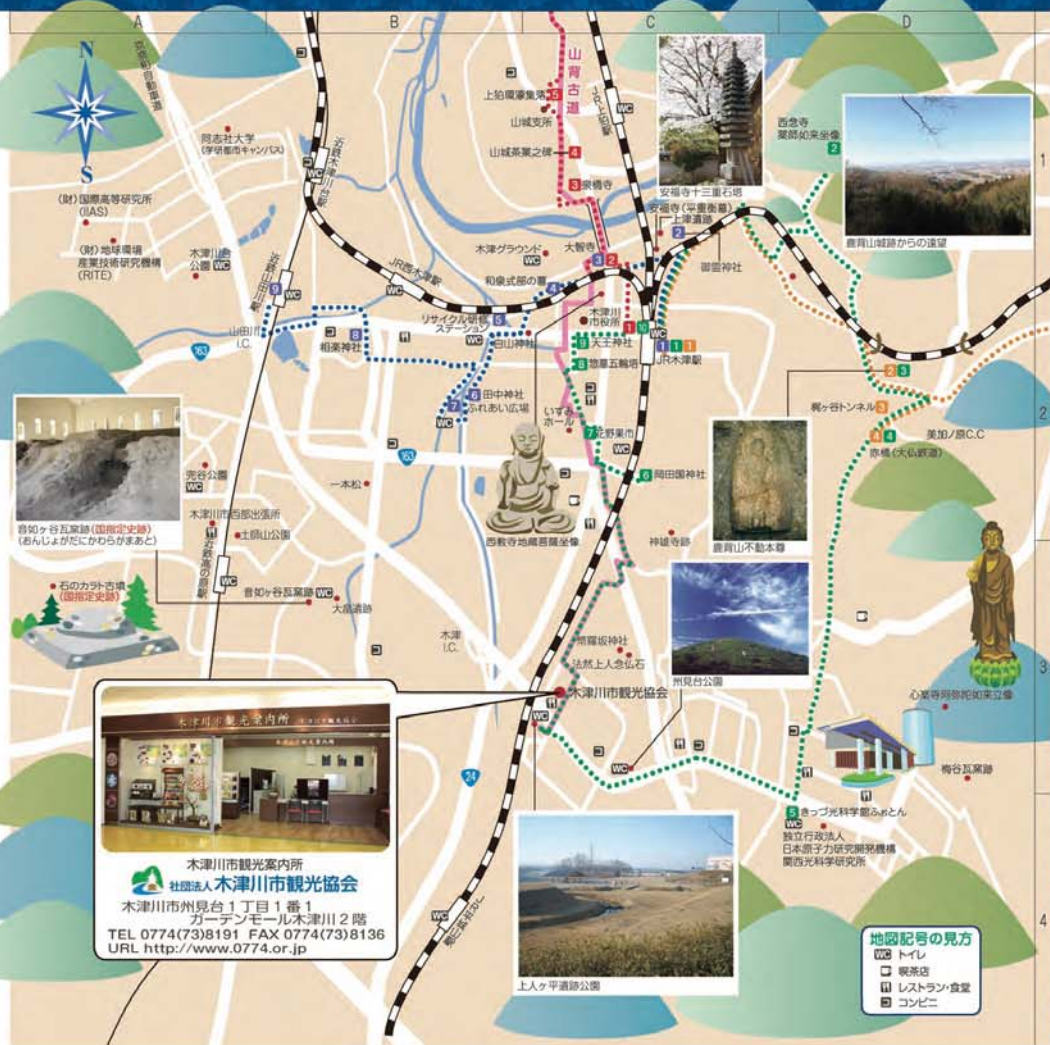
## 鹿背山 西念寺

MAP D-1



### ◆西念寺 薬師如来坐像(府指定文化財)

薬師堂の本尊です。平安時代後期、12世紀前半に作られたものです。右手を施無畏印とし、左手に薬壺をとる通例の姿ですが、製作技法は一木割彫造という特殊なものとなっています。台座は上から蓮華・束・華盤・数茄子・受座・反花・蛤座・二段框(隅足付き)という九重蓮華座で、当初からのものです。



木津川市観光案内所  
 社団法人木津川市観光協会  
 木津川市州見台1丁目1番1  
 カンテンモール木津川2階  
 TEL 0774(73)8191 FAX 0774(73)8136  
 URL <http://www.0774.or.jp>

## おすすめハイキングコース

- | A コース(約6km)        | B コース(約13km)     | C コース(約6km)             | D コース(約9km)   |
|--------------------|------------------|-------------------------|---------------|
| 木津・相楽1日コース         | 鹿背山・御堂1日コース      | 山崎古道1日コース               | 大仏の道を通る道      |
| 1 JR木津駅東口 WC       | 1 JR木津駅東口 WC     | 1 JR木津駅西口 WC            | 1 JR木津駅東口 WC  |
| 2 御堂神社             | 2 西念寺            | 2 大智寺                   | 2 鹿背山不動       |
| 3 大智寺              | 3 鹿背山不動          | 3 鹿背山不動                 | 3 梶ヶ谷トンネル     |
| 4 和泉式部の墓           | 4 赤橋(大仏鉄道)       | 4 泉橋寺                   | 4 赤橋(大仏鉄道)    |
| 5 リサイクル研修ステーション WC | 5 きつづ光科学館ふあとん WC | 5 山城茶業之碑                | 5 上拍環濠集落      |
| 6 田中神社             | 6 岡田国神社          | 6 山城茶業之碑                | 6 小林家住宅       |
| 7 ふれあい広場 WC        | 7 花野果市           | 6 上拍環濠集落                | 6 橋脚          |
| 8 相楽神社             | 8 惣墓五輪塔          | 6 小林家住宅                 | 6 高田寺         |
| 9 近鉄山田川駅 WC        | 8 天王神社           | 7 梶ヶ谷山古墳                | 7 SL展示場       |
|                    | 9 近鉄山田川駅 WC      | 7 アスピアやましろ WC(三角神祇鏡展示室) | 8 橋脚          |
|                    |                  | 8 浦出宮                   | 8 高田寺         |
|                    |                  | 9 JR櫛倉駅 WC              | 9 SL展示場       |
|                    |                  |                         | 10 JR木津駅西口 WC |
|                    |                  |                         | 10 JR櫛倉駅 WC   |

# 加茂

こころに残る風景に出会う...



九体阿弥陀仏(国宝)

## 浄瑠璃寺

MAP C-4

市域の東南部、奈良県との県境付近は、古くから小田原と呼ばれ、平安時代の後期には多くの修行僧が集まり、丘陵地の谷や崖に庵を営み仏教修行にそんでいました。小田原は大きく東西に二分され、東は随願寺(廃寺)を中心に子院や庵が集まり、西では浄瑠璃寺が中心で、現在は西小(にしお)といいます。寺の縁起には、奈良時代に聖武天皇が僧行基に命じて建立させたのがはじまりと伝えられますが、浄瑠璃寺の記録「浄瑠璃寺流記事」では、永承2年(1047)に当麻出身の僧義明が薬師如来を安置して開基したことを伝えています。その後、平安時代末期になって九体阿弥陀仏を安置する阿弥陀堂(国宝)を建立し、庭園を整備して今日の姿になりました。



浄瑠璃寺 阿弥陀堂(国宝)  
庭園(特別名勝史跡)



美しい歴史的風土。いにしえに培われた美。

## 海住山寺

MAP B-1

海住山寺は、天平7年(735)、聖武天皇の勅願により、東大寺の良弁僧正が開創したと伝えられています。山上の伽藍は貞慶が復興してからのもので、本堂の傍らにそびえる五重塔は、山並みに映える鎌倉時代の傑作で、国宝に指定されています。十一面観音像や文殊堂、絹本著色法華曼荼羅図、海住山寺文書はいずれも国の重要文化財に指定されています。



海住山寺五重塔(国宝)

## 岩船寺

MAP D-4

市域の東南部、奈良県境の小田原の東側に位置している古刹。寺の縁起によると、天平元年(729)、聖武天皇の勅願によって開基したと伝えられています。平安時代の本尊阿弥陀如来坐像、普賢菩薩坐像、鎌倉時代の十三重石塔や五輪塔、室町時代の三重塔(いずれも重要文化財)というように、それぞれの時代に優れたものが造られました。山あいにあることから、初夏の新緑、秋の紅葉は三重塔の朱ともマッチして、境内に奥行きを与えています。また、境内一帯に植えられたあじさいが美しく「あじさい寺」として知られています。



岩船寺三重塔(重要文化財)

## 岡田鴨神社

MAP C-2



岡田鴨神社 本殿

桓仁京遷都以前、和銅元年(708)9月、元明天皇が岡田離宮に行幸して「賀茂、久仁」の二里の人々に稻三十束を施しています。この二つの里の中心が、岡田鴨神社と岡田岡神社です。現在の岡田鴨神社の本殿は、春日大社の本殿を模した「春日移し」と呼ばれる建築様式です。また、この神社は、京都の賀茂御祖神社(下鴨神社)の元宮です。

## 御霊神社

MAP C-2

加茂町東並に位置し、元は灯明寺の鎮守社。灯明寺の建物等は横浜の三溪園に移築されたため、跡地には本尊などを安置する収蔵庫が設置されています。11月3日には収蔵庫、神社本殿の一般公開が行われます。



御霊神社 本殿(重要文化財)

## 高田寺

MAP B-3



薬師如来坐像(重要文化財)は平安時代の洗練された仏像として知られています。像高87cm、台座の高さ75cmで昭和48年の修理の際、台座裏に保安の年号と藤原実方の「さつきやみくらはし山のほととぎすおほつかなくもなきわたるかな」という歌が発見され、保安年間(1120~24)頃製作されたといわれています。この墨書の記述などから、昭和49年3月、国の重要文化財に指定されました。

薬師如来坐像(重要文化財)

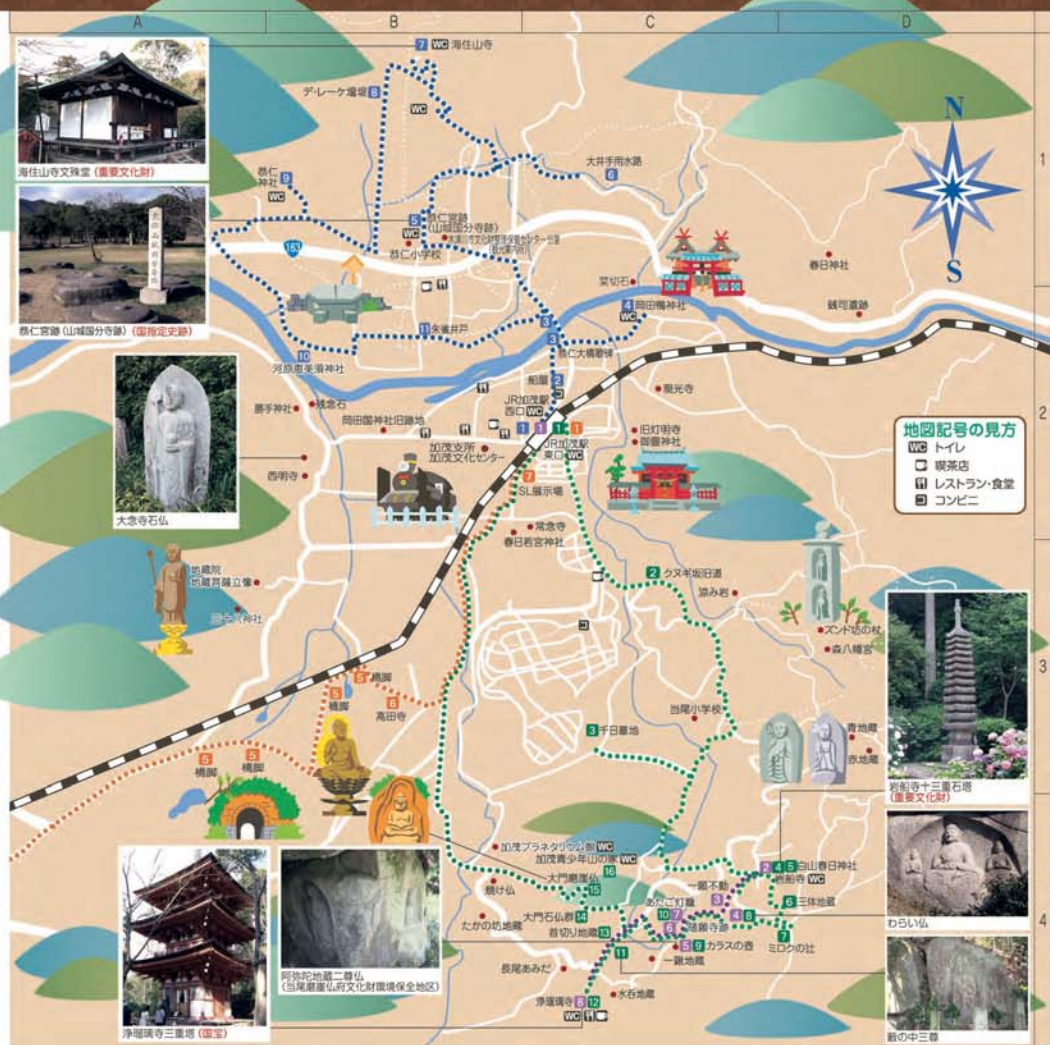
## 西明寺

MAP B-2

加茂盆地大野山の麓にある真言宗の古刹で、僧行基の創建と伝えられています。江戸時代の大規模な洪水で現在地に移動。本尊薬師如来坐像(重要文化財)は、台座とも平安時代当初のもので、像は樺の一本造で、胎内の銘文から永承2年(1047)9月造立と判明しました。



薬師如来坐像(重要文化財)



地図記号の見方  
WC トイレ  
♿ 喫茶店  
🍽️ レストラン・食堂  
🏪 コンビニ

## おすすめハイキングコース

**A** コース(約9km)

### 大仏街道を巡る道

- 1 JR加茂駅東口 WC
- 2 SL展示場
- 3 高田寺
- 4 わらい仏
- 5 携脚
- 6 カラスの壺
- 7 随願寺跡
- 8 浄瑠璃寺 WC
- 9 JR加茂駅東口 WC

**B** コース(約4km)

### 石仏の道

- 1 JR加茂駅東口 WC
- 2 岩船寺 WC
- 3 一願不動
- 4 わらい仏
- 5 カラスの壺
- 6 随願寺跡
- 7 あたご灯籠
- 8 浄瑠璃寺 WC
- 9 JR加茂駅東口 WC

**C** コース(約12km)

### 雷尾の里一周

- 1 JR加茂駅東口 WC
- 2 クヌギ坂旧道
- 3 千日墓地
- 4 岩船寺 WC
- 5 白山春日神社
- 6 三休地蔵
- 7 ミロクの辻
- 8 わらい仏
- 9 カラスの壺
- 10 あたご灯籠
- 11 藪の中三尊
- 12 浄瑠璃寺 WC
- 13 首切り地蔵
- 14 大門唐崖仏
- 15 大門唐崖仏
- 16 青少年山の家 WC
- 17 JR加茂駅東口 WC

**D** コース(約9km)

### いにしへの都を巡る道

- 1 加茂駅西口 WC
- 2 船屋
- 3 桓仁大橋歌碑
- 4 岡田鴨神社 WC
- 5 桓仁宮跡 WC
- 6 大井手用水路
- 7 海住山寺 WC
- 8 デ・レーケ堰堤
- 9 桓仁神社 WC
- 10 河原恵美須神社
- 11 朱雀井戸
- 12 JR加茂駅西口 WC

当尾の石仏を訪ねるみち 美しい日本の歩きたくなるみち 500選(2004年)

当尾(浄瑠璃寺、岩船寺など) 美しい日本の歴史的風土 100選(2007年)

# 山城

やましろ 往事へいざなう“山背”の路をゆく...

## 涌出宮

MAP B-2

和伎座天乃夫岐売(わきにいますあめのふきめ)神社が正式名であり、俗に涌出宮と呼ばれています。雨をもたらす神として古代農耕民に崇拜され、中世以来続く宮座行事は、国の重要無形民俗文化財に指定され2月の「居籠(いごもり)祭」は、天下の奇祭として有名です。



本殿(府登録文化財)

## 歴史風土と清流に育まれた

木津川沿いに佇む歴史的寺院。

## 泉橋寺

MAP B-4



石造地藏菩薩坐像(市指定文化財)

奈良時代の高僧行基(ぎょうき)が、天平12年(740)に開いた泉橋院(発菩薩院:ほつぼさついん)、隆福尼院(りゅうふくにいん)を前身とする寺院で、行基創建四十九院の一つといわれています。境内にある五輪塔は国の重要文化財に指定され、地藏堂跡に露仏として鎮座する石造地藏菩薩坐像は、鎌倉時代に造られたもので、高さ4.58mあり坐像では日本一の石地藏として有名です。

## 山背の豊かな自然に息づく

古代の伝説と史跡。

## 松尾神社

MAP B-3



松尾神社は、社伝によると天平勝宝年間(749~757)にはじまる古社で、国の重要文化財に指定されている本殿は、江戸時代の天明6年(1786)に造営された奈良春日大社若宮本殿を文化5年(1808)にこの地へ移築したものです。表門両脇の土塀は、鎌倉時代の瓦込め練塀で、国内に現存する最古の土塀です。

本殿(重要文化財)

## 玉臺寺

MAP C-3

玉臺寺は、かつて真言系寺院で狛井才天社の神宮寺でした。江戸時代に臨済宗妙心寺の僧智堪和尚が寺を再建し現在に至ります。周辺の弁天山は、木津川市の名勝の指定を受けています。

## 山背古道

やましろこうどう

京都と奈良の間、南山城の山際に位置する城陽市、井手町、木津川市の2市1町を結ぶ全長25kmの山背古道は曲がりくねった起伏の多い小径。奈良に都があった頃、「やましろ」を「山背」と表記していたことから名付けられたこの道は奈良から北陸に向けて通った古道をベースとしており、ロマンに溢れています。

## 蟹満寺

MAP B-2



普門山と号し、かつては紙幡寺、加波多寺とも表記され、白鳳時代の末期に創建されました。「古今著聞集」や「今昔物語集」に出てくる「蟹の恩返し」の縁起と国宝釈迦如来坐像で有名な寺です。釈迦如来坐像は蟹満寺の本尊で、高さ2.62m、重さ約2t余りの銅像です。

## 神童寺

MAP C-3



(重要文化財)



蔵王堂(重要文化財)

神童寺は、古くから奈良の吉野山と密接な関係を持つ修験道の聖地です。「北吉野山神童寺縁起」によると、この寺は聖徳太子の創建と伝えられ、役行者(えんのぎょうじゃ)がこの山で修行中に二人の神童の助力を得て刻んだ蔵王権現像(ざおうこんげんぞう)を本尊とし、また多くの文化財を所蔵する古寺として知られています。室町時代に再建された本堂(蔵王堂)は、国の重要文化財です。また、収蔵庫には、国の重要文化財に指定されている木造不動明王立像、木造髮髯明王坐像や木造阿彌陀如来坐像など多数安置されています。

## 天神社

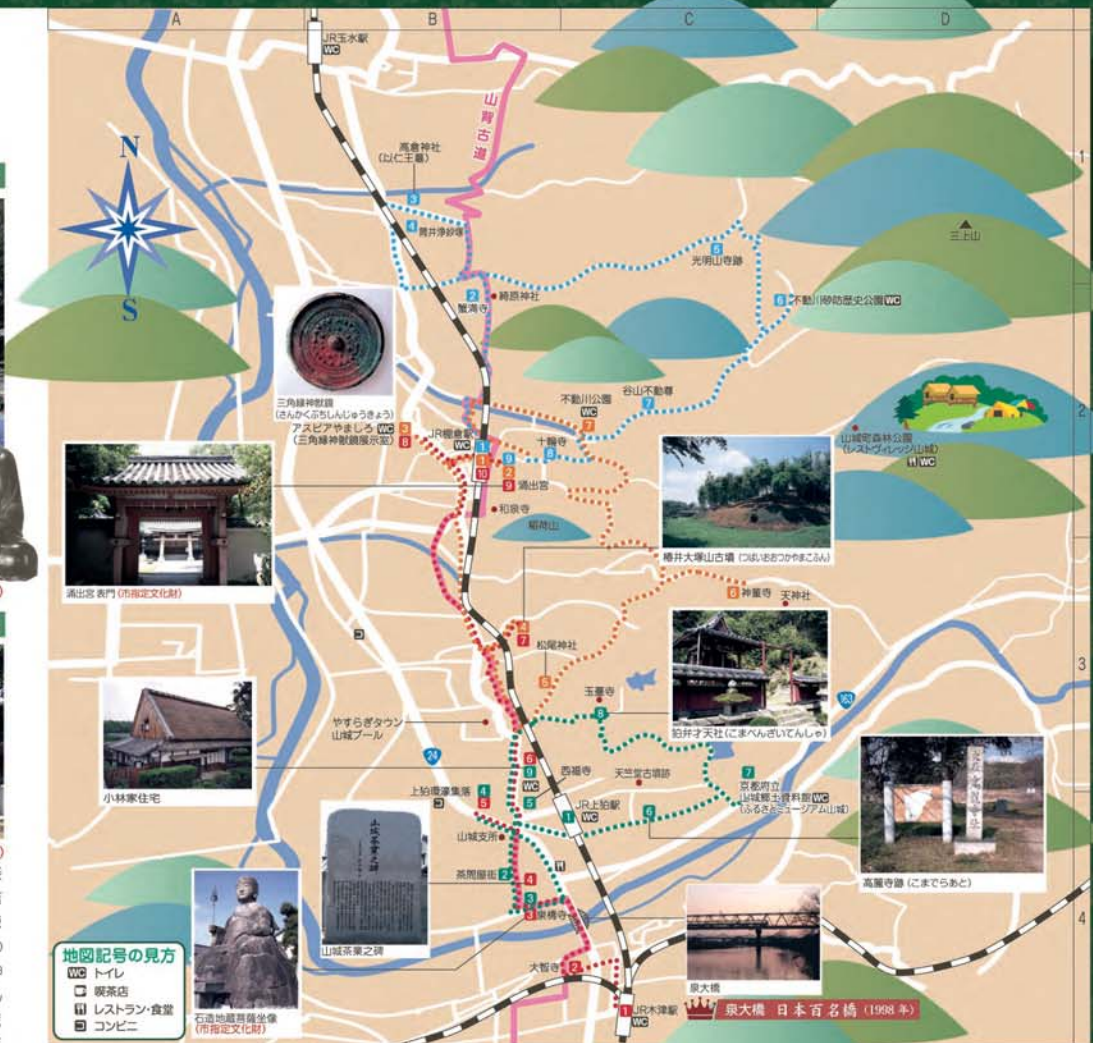
MAP C-3



本殿(府登録文化財)

神社境内には、高さ約4.15mの十三重石塔があります。台石には建治3年(1277)10月3日の銘が刻まれ、建立年代の明らかな、容姿の整った石塔として、国の重要文化財に指定されています。このほか、石造宝塔など鎌倉時代の文化財が伝えられ、境内そのものも府文化財環境保全地区となっています。

十三重石塔(重要文化財)



## おすすめハイキングコース

### A コース(約10km)

#### 御倉1回コース

- 1 JR榎倉駅 WC
- 2 蟹満寺
- 3 高倉神社(以仁王墓)
- 4 筒井浄妙塚
- 5 光明山寺跡
- 6 不動川防衛歴史公園 WC
- 7 谷山不動尊
- 8 十輪寺
- 9 涌出宮
- 10 JR榎倉駅 WC

### B コース(約8km)

#### 桐倉~神童寺1回コース

- 1 JR榎倉駅 WC
- 2 涌出宮
- 3 アスピアやましろ(三角縁神鏡展示室) WC
- 4 橋井大塚山古墳
- 5 松尾神社
- 6 神童寺
- 7 不動川公園 WC
- 8 JR榎倉駅 WC

### C コース(約8km)

#### 上杉1回コース

- 1 JR上杉駅 WC
- 2 茶間屋街
- 3 泉橋寺
- 4 上杉環瀬集落
- 5 西福寺
- 6 高麗寺跡
- 7 山城郷土資料館 WC
- 8 狛井才天社(玉臺寺)
- 9 小林家住宅
- 10 JR上杉駅 WC

### D コース(約6km)

#### 山背峠道1回コース

- 10 JR榎倉駅 WC
- 9 涌出宮
- 8 アスピアやましろ(三角縁神鏡展示室) WC
- 7 橋井大塚山古墳
- 6 小林家住宅
- 5 上杉環瀬集落
- 4 山城茶業之碑
- 3 泉橋寺
- 2 大智寺
- 1 JR木津駅西口 WC

# 春

spring

桜とつじが咲き誇るうらがな春

宗門山門の本陣



女座(おなごさ)の祭り 満出宮 MAP B-2  
同之座・中村座の女衆が大板で作った髪物や供物を神前に供え、神事が奉納されます。春の彼岸中日、午後3時頃。



蟹供養放生会 蟹満寺 MAP B-2  
毎年4月18日に蟹満寺の縁起に基づいて行われる行事で、全国からカニ業者が参加します。住職の読経の後、境内の手水鉢にサワガニが放され、その年の高売繁盛と豊漁を祈願します。

## 春に集う、花に憩う。



厄除大祭 海住山寺 MAP B-1  
3月に厄除護摩折禱が執行され、希望者には厄除御飯(有料)が供されるほか甘酒の接待もあります。



慈仁大橋付近 / セイヨウカラシナ



不動川公園 / 桜

**3 酉年**

厄除大祭 海住山寺  
三重塔(国宝)開扉 浄瑠璃寺  
女座の祭り 満出宮  
吉祥天女立像開扉(3~5月) 浄瑠璃寺

**4 卯年**

花祭 高田寺  
御影供(みえく) 海住山寺  
蟹供養放生会 蟹満寺

**5 辰年**

三重塔(国宝)開扉 浄瑠璃寺  
吉祥天女立像開扉 浄瑠璃寺

**6 未黒月**

行者まつり 浄瑠璃寺  
三重塔(国宝)開扉 浄瑠璃寺  
虫送り 木津鹿背山地区

**7 又月**

虫送り 山城町椿井地区  
木津の祇園祭 天王神社  
地蔵まつり 法蓮寺・泉橋寺  
天満宮例祭 夏越祭 阿田鴨神社

**8 衆月**

五ツ脚しゅうらい踊り 山城町上給地区  
市坂大鼓念仏 念仏石堂  
西教寺六首念仏 西教寺  
台風除け祈願 相楽神社  
風祈禱 神堂寺

# 夏

summer

新緑に込められたいにしえからの祈り。



虫送り 山城町椿井地区  
燐などが田植えの済んだ苗に卵を産みつけるのを防ぐために、大太鼓の音が響くなか、たいまつによって虫をおびき出し駆除するという古くからおこなわれている伝統行事です。

## 郷愁誘う祭の灯。 古里の伝統行事。



地蔵まつり 泉橋寺 MAP B-4  
毎年7月に山城町上給の泉橋寺と法蓮寺で行われる地蔵祭り。寺に続く沿道には夜店が並び、近隣の人々に賑わいます。



しゅうらい(精霊)踊り (府登録文化財) 山城上給エリア  
しゅうらい踊りは益に新仏の家をゆるめる念仏講士の益踊りで、その起こりは室町時代までさかのぼります。現在では山城町上給の五少郷地域だけが伝統芸能として伝承しており、京都府の登録文化財となつています。



行者まつり 浄瑠璃寺 MAP C-4  
大日如來灌頂堂で法要が営まれます。境内の地藏堂周辺では行者市やお茶席、墨助籠などが開催されます。また、灌頂堂では秘仏役行者三尊像が、地藏堂では秘仏地藏菩薩立像が特別公開されます。



浄瑠璃寺 / 下野草(しもつけそう)



茅の輪くぐり(夏越祭) 岡田神社 MAP C-2  
茅の輪くぐりは、『備後風土記』の記述によると、悪い地表を破り、夏端であつても青々と生育する茅がやに靈的な力があるとされ、この茅の輪をくぐるにより罪や穢れを払い清い心、災厄を避け、1年を無事に過ごせると信じられています。

photo gallery



ふれあい広場 / 桜・セイヨウカラシナ



神鹿寺 みつばつじ・桜



岩船寺 あじさい



浄瑠璃寺 / 菖蒲園

photo gallery

# 秋

autumn

秋空に映える色とりどり。壮麗な祭神典。



護摩たき 神倉寺 MAP C-3

毎年9月におこなわれる神倉寺の護摩たき。護摩木を燃やし、無病息災・増益敬愛を祈る行事で、毎年多くの人がご利益にあずかるかと訪れます。



誓いの相撲(あいのすもう) 涌出宮 MAP B-2

4つの堂からの代表の子供が神前相撲を行い、秋の取り入れの確かなことを神に祈る豊作祈願です。



加茂町河原/彼岸花

photo gallery



華仁宮跡 コスモス



三上山(さんじょうさん)



# 冬

winter



木津御輿祭 (市指定文化財) 御霊神社・岡田国神社 MAP C-1-2

江戸末期に始まり、かつては9基の御輿が2日間連なって練り歩き、御霊神社ほか田中神社・岡田国神社の拝殿廻りを行っていました。現在は、10月第4週の土曜日に、敬神船・拝神船の御輿が御霊神社に、翌日の日曜日には、社町・義友会の御輿が岡田国神社に、小寺の御輿が白山神社にそれぞれ町内を練り歩き、午後には各神社への宮入りが行われます。

おかげ餅 (府指定無形民俗文化財) 白山神社 MAP C-3



室町時代に建立された白山神社本殿(重要文化財)と併社春日神社(府登録文化財)は加茂町岩船区の氏神として祀られています。毎年10月16日に奉納されるおかげ餅は江戸時代に流行した伊勢参りのなごりといわれ、昭和46年に復興され京都府の無形民俗文化財に登録されました。南山城では萬葉に「たえじやないか」の埋発的な流行を呼び、岩船には当時の輪舞の給馬が奉納されています。

9 月 誓いの相撲(あいの相撲) 涌出宮 護摩たき 神倉寺

10 月 岩船のおかげ餅 白山神社 貝司の獅子舞・田楽・相撲 春日神社 焼原神社 百味御食 涌出宮 秋祭り・木津御輿祭 御霊神社

11 月 海住山寺特別展 海住山寺 吉祥天女立像開扉 浄瑠璃寺



居籠祭(いごりまつり) (重要無形民俗文化財) 涌出宮 MAP B-2

その年の1年の稲作の豊作を予祝する農耕儀礼として、毎年2月第3土日に涌出宮でおこなわれます。南山城地方最古の祭りとして知られ、この祭りを含む客座行事が国の重要無形民俗文化財に指定されています。「超禰る」とは外出を慎み、心身を満ちる意味で、かつて村人たちは居籠祭神事の日は家に居籠り一切音を立てなかったといわれています。室町時代中期の農耕儀礼やお田植え行事をよく伝承しているものとして、民俗学的に多くの研究者の注目を集めています。祭りそのものの発生は農耕が始まった時代にまでさかのぼると考えられます。



相衆の御田(おみた)と正月行事 (府指定文化財) 相衆神社 MAP B-2

1月15日昼、4人の宮守とソノイ子(巫女)によって行われる予祝儀礼で、祝詞に始まり、御初め・豊初め・御打ち・豊代しめ・種まき・春田打ち・田植えまでの稲作の過程を演じるものです。古風な種まき、春田打ち、田植の歌を伝えており、芸能としても貴重な伝承となっています。



中風封じ大根炊き 海住山寺 MAP E-1

護摩たき・ご祈禱の後、檀家さんが二日前から仕込むという大根炊きが振舞われます。田楽味道の香りと大根の柔らかさが、体にしみ渡ります。護摩には「中風封じ御封じ御封じ御封じ」とあり、大根には凡字で「観音様」とあります。



御田(おみた) 1月15日昼、4人の宮守とソノイ子(巫女)によって行われる予祝儀礼で、祝詞に始まり、御初め・豊初め・御打ち・豊代しめ・種まき・春田打ち・田植えまでの稲作の過程を演じるものです。古風な種まき、春田打ち、田植の歌を伝えており、芸能としても貴重な伝承となっています。

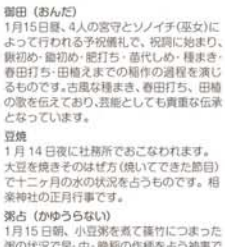
豊饒 1月14日夜に社務所でおこなわれます。大豆を焼きそのほげ方(焼いてきた節目)で十二月の水の状況をおもうものです。相衆神社の正月行事です。

第3号(かゆうらなひ) 1月15日朝、小豆粥を煮て藁竹につまった粥の状況で早・中・晩稲の作柄を占う神事です。

12 月 中風封じ大根炊き 海住山寺 除夜の鐘

1 月 勤道庵 志比寿祭 火まつり 三重塔(国宝)開扉 吉祥天女立像開扉 御田 豆焼

2 月 餅花祭 三重塔(国宝)開扉 いごりまつり(居籠祭) 相衆神社 浄瑠璃寺 涌出宮



いにしえから今日へ 人々が祈る五穀豊穡。

火まつり 火をもって煩悩を焼き清めます。相衆議の行者さんによる祈禱の後、クライマックスは参拝者も参加する「火渡り」で盛り上がります。焼きみかんや善哉などの贈る舞いもあります。

大まつり 和泉寺 MAP B-2

photo gallery



浄瑠璃寺 阿彌陀堂



# 特産品

product

生産者の顔が見える特産品の数々。



山城のぶどう・たけのこ



当尾のごぼう



鹿骨山の柿



当尾の菜り店

浄瑠璃寺から岩船寺周辺の道沿いに、季節の野菜を中心に漬物、手作り菓子など当尾の産物が売られています。



花野菜市(はなやさいち) MAP C-2

「手間はかかっても安心して食べられる美味しく、安全な野菜づくり」をモットーに、農家のおじさん・おばさんとの対面販売で、都市と農村との交流を図ります。  
開催期間：年中無休(ただし年末年始は除く)  
営業時間：9:30~17:00 住所：木津川市木津八色18-7  
主な取扱商品：野菜・果実・花・農産加工品等  
お問い合わせ先：JA京都やましろ木津支店 0774-72-1771



狭谷の大根・スイカ



お茶

## 心を込めて育て上げた特産品。



相楽木綿

明治から昭和10年代にかけて、木津川市相楽地区を中心に相楽木綿(さがなかもめん)と呼ばれた木綿織物が盛んに造られていました。相楽木綿には、無地、縞、縞といずれの柄もありますが、色糸と紺の多様使いが特徴です。

## 受け継がれる伝統工芸。



製紙

織物・和紙など天然素材を主とした製紙は、全国トップクラスの生産高を有しています。木津川市は、古くから綿・スワ織物の産地として有名で、織物から染色・仕上げまで一貫した生産設備を持った製紙メーカーもあります。



製紙

天然素材の麻・綿そして木から生まれたレーヨン糸などを使用した、織物ふすま紙が製造されています。



柿洪

木津川市をはじめ京都山城地方では、先人がお茶と共に洪柿を造り出し、更に柿洪造りに適した洪柿の品種改良を重ねました。こうして、柿洪造りの好適地である「天王柿」の産地、そして日本の代表的な柿洪の産地となっています。



# 学・遊

museum・park

加茂プラネタリウム館 MAP B-4



豊かな自然に囲まれた環境の中「星と自然と心のふれあい」をテーマに、アットホームな雰囲気の中で美しい四季の星空や宇宙に関する話題を提供しています。隣の加茂青少年山の家では宿泊やバーベキュー等のご利用もできます。

加茂プラネタリウム館  
開催時間：9:00~16:30(土日祝、学校休業期間中の火水金)  
予約団体の投影のみ(学校休業期間外の火水金)  
住所：木津川市加茂町岩船ガンド2  
休館日：毎週月曜日・木曜日  
観望休館(特別催事・番組入替・点検(年2回))  
料金：有料 お問い合わせ先：0774-76-7645

京都府加茂青少年山の家 MAP B-4



加茂青少年山の家  
開催時間：9:00~22:00  
休館日：毎週木曜日  
お問い合わせ先：0774-76-3130

あじさいホール(加茂文化センター) MAP B-2



市内で最大の収容人数500名の「あじさいホール」と、研修室、和室、調理教室などを備えた市民の文化・交流を深める施設です。  
住所：木津川市加茂町里南古田156  
開催時間：9:00~22:00  
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日休館)  
お問い合わせ先：0774-76-4611

## 文化の発信基地。

アジアやましろ(山城総合文化センター) MAP B-2



多目的ホールの他、視聴覚室などの会議室も備え、文化の発信基地・交流の場としての役割を担う施設です。  
開催時間：9:00~22:00  
住所：木津川市山城町平尾前田24  
休館日：月曜日  
お問い合わせ先：0774-86-5851

リサイクル研修ステーション MAP B-2



地球規模の環境問題から身近なごみ問題までの研修と実践を進めるため、開設しています。4R【リデュース(産業物の減量化)、リユース(有効利用)、リサイクル(再資源化)、リジェネレーション(再生製品の購入)】活動を基本コンセプトとしごみゼロ社会の実現に向けた取り組みをしています。この建物は郵便局をリユースした建物です。  
開催時間：8:30~17:00  
住所：木津川市木津神田2-1  
休館日：月曜日・祝日(月曜日の場合は翌日)  
お問い合わせ先：0774-75-2140

京都府立山城郷土資料館(はるごとミュージアム山城) MAP C-3



南山城の歴史資料、考古資料、民俗資料等の保存及び展示をしている資料館。企画展や特別展、セミナー・各種講座などのイベントも開催されます。  
開催時間：9:00~18:30  
住所：木津川市山城町上段千両西  
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日休館)  
料金：大人200円、小学生50円  
お問い合わせ先：0774-86-5199

いずみホール(中央交流会館) MAP C-2



多目的ホール、研修室、クラフト室、調理教室などがあり、市民の交流の場として利用されています。  
開催時間：9:00~22:00  
住所：木津川市木津宮ノ内92  
休館日：月曜日(12月29日~翌年の1月3日まで)  
お問い合わせ先：0774-72-8800

## 森林の自然を満喫する。

山城町森林公園(レストヴィレッジ山城) MAP D-2



耳をすませば小鳥のさえずりや川のせせらぎが聞こえる、自然いっぱい、キャンプ場のほかにもバンガローやログハウスといった宿泊施設もあり、泊まりがけでも自然を楽しむことができます。  
住所：木津川市山城町神崎字三上山1  
お問い合わせ先：0774-86-4507  
【利用料金】  
環境整備費：大人(中学生以上)200円 小人(小学生)100円  
駐車料：1台500円 バンガロー(4人用)1泊6,000円  
ログハウス(8人用)1泊12,000円 テントサイト:1カ所500円  
※バンガローとログハウスの宿泊には別途遊具使用料(1人200円)が必要です。

不動川砂防歴史公園 MAP C-2



この地域一帯は、デレークによってヨーロッパ式の近代砂防技術が日本に初めて導入された記念すべき地として、京都府により砂防歴史公園として整備され、砂防施設指定建造物となっています。休日にはアウトドアやレクリエーションなどで多くの人に利用されています。平成12年には日蘭400周年を記念し、公園内にデレークの銅像が設置されました。

ふれあい広場 MAP B-2



住民に親しまれ、憩い、工夫を凝らした地域のシンボルとして、平成6年度「手作り郷土賞」を受賞した公園です。緑の竹林に立つ高さ3~8メートルのステンレス製パイプは、町制100周年にちなんで建てられた100本のミニエコーパイプ、うち20本が自然風で音を奏でる「音の記念碑」になっています。このパイプは、風の強さにより雑音のような音を奏で、夜間はライトアップされ幻想的な音空間を醸し出します。

# きづがわ歴史探訪



南山城に位置するこの地は、旧石器時代から人が住み、山あいの地でありながら、木津川をおとして早くから朝鮮半島などと交流がありました。古墳時代を経て、飛鳥、藤原、平城などの都への入口として、都と各地を結ぶ接点の地として、その歴史と文化を育んできました。平安時代、東大寺や興福寺などを領主とする荘園がおかれたため奈良や京都の文化の影響を大きく受け、神社仏閣も数多く建立されました。鎌倉時代になると村人たちは有力者を中心にまとまり、石仏や十三重石塔、五輪塔を建て、石に仏を刻んで神仏の信仰が庶民に行き渡っていきました。15世紀後半の応仁の乱は山城地域を戦場としましたが、地元武士を中心に結束した人々は、軍勢を追い出し地域の自治を行いました。これが山城国一揆です。江戸時代、山城地域は豊かな農村地帯となり、木津川水運を利用して、農産物などを伏見・京都に積み出し、必需品を運び上げました。また、煎茶製法の改良によって、お茶の栽培が急速に広がり、幕末期以降、煎茶は欧米に輸出されるようになりました。明治時代になると鉄道や道路の交通網の整備が進み、しだいに木津川の水運の役割は小さくなりました。最近、京都大阪・奈良のヘッドタウンとして人口が増加するとともに、関西文化学術研究都市の建設が進められ、大きな発展を遂げています。

時代区分	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	江戸	明治
木津	大島遺跡 (相楽山古墳)			奈良山瓦窯遺跡 上津遺跡 神雄寺跡	安福寺・平重衡の墓	木津惣墓五輪塔	鹿背山城跡		大仏鉄道跡
加茂		砂原山古墳	岡田神社 藤仁京 銭司遺跡	浄瑠璃寺	当尾石仏群 海住山寺五重塔 大井手水路	岩船寺三重塔			大阪築城の残念石
山城	涌出宮遺跡	平尾城山古墳 櫛井大塚山古墳	蟹淵寺釈迦如来坐像 高麗寺跡	泉橋寺	以仁王墓(高倉神社) 神鹿寺		上粕環濠集落 粕井才天社		テ・レーケ堰堤 上粕の茶問屋

●相楽山銅鐸 ●大島遺跡 **MAP B-3**  
(複製文銅鐸だけさきもんどうく) (市指定文化財)  
ニュータウン工事地内から出土した高さ 40.5cm の銅鐸で、僧侶の袈裟に似て、身を六区に区画することから六区画袈裟銅鐸と呼ばれています。出土地近くの大島遺跡では、弥生時代中期後半の竪穴式住居跡・方形周溝墓などが発見され、銅鐸を埋納した集落と判明しています。



●櫛井大塚山古墳(国指定史跡) **MAP B-3**  
古墳時代前期(三世紀後半)のなかでも最古に位置づけられる代表的な前方後円墳です。昭和28年、古墳の後円部を南北に走る国鉄奈良線(現在のJR奈良線)の法面拡幅工事が行われた際に、竪穴式石室が発見されました。発掘調査で、石室内から、邪馬台国の女王卑弥呼の鏡とも呼ばれる「三角縁神鏡(さんかくぶしんしんじゅうやう)」三十数面を含む四十面近い銅鏡や多くの副葬品が出土し、全国的に大きな注目を集めました。



●銭司遺跡(府指定史跡) **MAP D-2**  
我が国の古い貨幣として知られている「和同開珎(わどうかいちん)」を鋳造していたところ。この場所からは、鞆の羽口(ふいごのはくち)や埴壇(るつぼ)のほか銅銭だけでなく銀銭も出土しています。銭司(ぜす)の地名は、この銅銭司(造幣局)に由来するものです。



●高麗寺跡(国指定史跡) **MAP C-4**  
7世紀初頭(飛鳥時代)に創建された国内最古の寺院跡のひとつで、高句麗からの渡来氏族(高麗)氏の氏寺として創建されたと考えられています。「日本書紀(にほんりょういき)」には天平年中(奈良時代)に存在したことが記され、伽藍(がらん)は木津川を見下ろす台地上に南面して、西に金堂、東に塔を持つ法起寺式の配置となっています。

●上津遺跡 **MAP C-1**  
奈良時代の木津川(当時泉川)の南岸のこの地には「泉津(いずみつ)」と呼ばれる港が開かれ、平城宮や南都諸大寺の出入機関「木屋所(こやしよ)」が設置されていました。昭和51年の発掘調査では、160m以上も東西に延びる溝、更に並列する建、物の跡や多数の遺物が出土しています。

●奈良山瓦窯跡(国指定史跡) **MAP B-3・D-2**  
音羽ヶ谷瓦窯跡・鹿背山瓦窯跡・市坂瓦窯跡・岩船寺瓦窯跡(国指定)  
今から1300年の昔、平城遷都が決定し、都近郊には様々な工房が設けられました。平城宮の宮殿や役



所に置かれた瓦は、数百万枚ともいわれています。京都と奈良の境にある奈良山丘陵は瓦に必要な粘土や燃料に恵まれており、瓦の一大拠点となりました。そのうち音羽ヶ谷瓦窯跡は、1979年の発掘調査によって4基の瓦窯跡と数棟の掘立柱建物が発見され、瓦の文様から「法華寺阿弥陀淨土院」創建瓦を焼いた窯であることが判りました。木津川市では鹿背山瓦窯跡、市坂瓦窯跡、梅谷瓦窯跡と併せて4ヶ所の瓦窯跡が、史跡瓦窯跡(奈良市)を含め「奈良山瓦窯跡」として国の史跡に指定されています。

●当尾の石仏 **MAP BCD-4**  
(当尾磨崖仏(まがいがつ)文化財環境保全地区) **「美しい日本の歴史的風土100選」**

市内東南部の当尾地区には、多くの石仏や石塔があることで知られています。特に平安時代から修行僧の庵室や行場が設けられていた当尾には、浄瑠璃寺・岩船寺の界隈に、鎌倉時代後期から室町時代にかけて、行き交う人々のために多くの磨崖仏が造立されました。繊細で芸術性の高い石仏が多く点在し、石仏の里として訪れる人が絶えません。



●大仏鉄道遺構(赤橋) **MAP D-2**  
約100年前に開通して、わずか9年余りで廃止された鉄道がありました。「大仏鉄道」です。かつての路線跡に鉄道構造物やランプ小屋が残っています。

●上粕の茶問屋街 **MAP B-4**  
近郊では江戸時代から優れた品質の茶の栽培と製茶が盛んで、幕末には木津川の水運を利用して神戸に出荷し、世界に輸出されていました。木津川の浜に近い山城町上粕南部には製茶工場や茶問屋が集積し、最盛期には120軒を数えたといわれています。現在も約40軒の茶問屋が軒を連ね、茶問屋ストリートと呼ばれる町並みが往時の雰囲気を残しています。

●不動川砂防施設(テ・レーケ堰堤) (府指定文化財) **MAP C-2**  
明治6年に政府の招きにより来日したオランダ人技師ヨハネス・テ・レーケは日本の治水事業の発展の基礎を築いた人物です。なかでも不動川上流に数多く築かれた石積の砂防堰堤は日本で最初に築かれたもので、100年以上経った現在もその姿を残しています。

●大井手水路 **MAP C-1**  
貞応元年(1222)海住山寺第二世慈心上人は、瓶原の住民が水不足で苦労しているのを見て、和東川から水を引く大井手水路の建設を計画し、二十余年の歳月を費やして完成させました。その延長は6,759mに及んでおり、このおかげで米の収穫量が大幅に増え、今も瓶原一帯を潤っています。



●上粕環濠集落(市指定史跡) **MAP B-3**  
上粕環濠集落は、通称「大里」と呼ばれ、長径600m、短径300mの周囲を堀に囲まれ、山城国一揆の舞台となった村の一つとして村人たちの生活や村を治めた国人泊氏に由来する遺跡と文化財が残り、郷村の風景を想像することができます。

●木津惣墓五輪塔(重要文化財) **MAP C-2**  
鎌倉時代正応5年(1292)に建立された、高さ3.6mの花崗岩製の五輪塔です。惣墓とは、一般大衆のあいだに個人墓が普及していなかった時代の葬儀形式の一種で、いわゆる共同墓地という意味を持っており、主に大和・山城地方に分布しています。建立年代の判る五輪塔として貴重なもので重要文化財となっており、現在も大切に保存されています。

●以仁王墓(高倉神社) **MAP B-1**  
●平重衡の墓 **MAP C-1**  
高倉神社は、平安時代末期の後白河法皇の第二皇子以仁王(もちひとおう)を祀り、隣接して以仁王の御墓があります。「平家物語」によると、平家に追われた以仁王は、南都の興福寺をたよって都から落ちる途中、この地「光明山の鳥居の前」で流れ矢に当たって落命したとあります。平重衡は、平清盛の五男で、平氏に代わらない勢力の拠点である東大寺・興福寺を焼き討ちしたことで有名です。「一の谷の合戦」に敗れ捕虜となり、焼き討ちにあつたお寺の教徒の要求で奈良に送られ木津川原で斬首されました。



●大阪築城の残念石 **MAP B-2**  
加茂盆地の西側、大野山の東斜面には、何力所かに斜面の岩盤から切り出された大きな石が残っています。また、大野の勝手神社下の木津川にも、2~4mほどの花崗岩の切石がたたくさん点在しています。これらは、藤堂高虎によって切り出され、徳川氏の大坂城復興に用いられた石材の一部です。大阪城へ運ばれなかった石材は、残念石と呼ばれ現在も多くが河原に残されています。



# 恭仁宮 よみがえる古代の都

今からおよそ 1300 年前  
木津川市に都が造られ  
歴史の中心舞台となりました。



恭仁宮跡が立地する瓶原地区は、京都府最南端に位置する木津川市加茂町にあります。瓶原地区は、平城宮跡の北方に位置し、三方を急峻な山で囲まれ、南に木津川が流れる盆地となっています。恭仁宮は南に広がる自然地形を利用して造営されました。恭仁宮跡周辺には重要な寺院や古代の造幣局跡などが立地し、かつてこの一帯が古代の中枢地域であった痕跡が明らかになってきました。かつて「万葉集」にも詠われた恭仁宮の地はのどかな農村として受け継がれ、秋には一面のコスモスが人々を楽しませてくれます。

地下に眠る往時の遺構は、地域の人々により今日まで守り伝えられてきました。瓶原に現在も残る大極殿の基壇と山城国分寺の塔跡の巨大な礎石が往時を偲ばせています。

天平 12 年 (740)、聖武天皇は、疫病や戦乱に見舞われ、社会不安が全国的に高まっていた事態を一新するため、平城京からの遷都を決意し、山背国相楽郡恭仁郷を新しい都と定め遷都しました。

恭仁宮は、それまでの都に比べ規模も小さく、わずか 5 年あまりの短命な都でしたが、この間、諸国に国分寺・国分尼寺建立を命じたり、墾田永年私財法など重要な政策を行い、日本の中心としてその役割を果たしました。また、この時期に大仏造営にも取り掛かっています。



瓶原地区 (木津川上流から西を望む)

恭仁宮の規模は、東西約 560m、南北約 750m の長方形で、面積約 42ha であったことが確認されています。

恭仁宮は、宮の中心地区である「大極殿院地区」、その背後の東西に並んだ 2 つの「内裏地区」、大極殿院地区の南側の「朝堂院」、「朝集殿院」によって構成されていました。また、宮の周囲は「大垣」と呼ばれる堀によって囲まれており、南東部には「東面南門」がありました。

恭仁宮の範囲については不明な点も多くありますが、恭仁宮のほぼ正面を木津川を隔てて南北に連なる鹿背山 (大野山) の東側 (加茂地区) を左京、西側 (木津・山城地区) を右京とする説が有力です。

710 年 (和銅 3 年)	平城京に都が遷都される
724 年 (神亀元年)	聖武天皇が即位する
740 年 (天平 12 年)	九州で藤原広嗣が反乱をおこす 恭仁宮に遷都される
741 年 (天平 13 年)	天皇、恭仁京で朝賀を行う 国分寺・国分尼寺造営の詔が出される
743 年 (天平 15 年)	墾田永年私財法が出される 大仏造営が決定される
745 年 (天平 17 年)	恭仁宮から難波宮に遷都される 再び平城京に遷都される
746 年 (天平 18 年)	恭仁宮大極殿を国分寺に施入する
752 年 (天平勝宝 4 年)	東大寺大仏開眼供養
784 年 (延暦 3 年)	長岡京に遷都される
794 年 (延暦 13 年)	平安京に遷都される



## ■大極殿院

恭仁宮の中心地区である大極殿院地区は広い前庭をとまない。前庭から 1 段高い位置に大極殿が建てられていました。大極殿は、天皇を中心とした儀式や政治を行ううえで最も重要な建物でした。現在でも、東西約 60m、南北約 30m、高さ約 1m を測る土壇が残されており、これが大極殿の基壇と推定されています。発掘調査により 13 箇所の礎石据付痕跡や基壇の一部、正面中央階段等が発掘されました。これらの調査や文献によって恭仁宮の大極殿建物は、第一次平城宮の大極殿を移築したものであることが明らかになりました。平成 22 年 (2010) に平城宮跡大極殿跡に復元された大極殿建物は、恭仁宮跡の発掘調査結果も参考に建築されました。



恭仁宮跡 CG 復元図



平城宮跡に復元された 第一次大極殿 (平城遷都 1300 年祭 2010.5)

## ■内裏

大極殿院地区の背後には、東西に並んだ 2 つの区画の内裏地区がありました。天皇が日常生活を送るところで、時には政治を行い、臣下を招き宴会なども開かれました。

## ■朝堂院・朝集殿院

大極殿院地区南側には朝堂院がありました。朝堂という名は、役人たちが夜明けから昼頃までここで仕事をしていたことが由来となっています。正月の朝賀や外国使節が訪れたときには、役人たちが朝堂院の広場に並び、儀式を行いました。発掘調査により、周囲を掘立柱堀で囲まれていたことがわかっています。朝堂院の南は朝集殿院となっており、朝堂院で行われる儀式が始まるまで役人が待機する場所であったと考えられています。

## ■大垣・東面南門

宮の周囲は、大垣と呼ばれる、高さ 5m にもおよぶ大規模な土堀で囲まれていました。版築により構成された基壇と、雨落溝が発掘されました。大垣には、出入りのための東面南門 (宮城門) がつくられ、警備兵により厳重に守られていました。発掘調査により、東面南門は礎石建の八脚門であることが判明しました。



恭仁宮大極殿跡

## ■山背国分寺の誕生

天平 17 年 (745)、恭仁宮から難波に都が遷されると、翌天平 18 年 (746)、宮跡の中心部分は、当時全国的に進められていた国分寺建立の動きに合わせて、「山背国分寺」として生まれ変わることになりました。

国分寺は東西約 275m、南北約 330m という広い伽藍を持っていました。かつての大極殿は金堂として再利用され、新たに七重塔が造営されました。こうして完成した山城国分寺も鎌倉時代以降には勢力が衰え、寺の規模も徐々に縮小していったと考えられます。現在も七重塔跡には、土壇の上に 15 個の巨大な礎石が残されています。



山城国分寺跡

※平成 22 年 3 月木津川市教育委員会発行「恭仁宮」より一部引用しています。

# 学研都市

関西文化学術研究都市

関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)は、京都・大阪・奈良の三府県にまたがる豊かな自然・歴史・文化的環境と地理的に有利な条件に恵まれた京阪奈丘陵に立地しています。産・学・官の密接な連携のもとに文化、学術、研究、産業の新しい拠点を形成するとともに、未来を拓く知の創造都市として、魅力ある居住環境、都市環境の創造を目指すナショナルプロジェクトです。

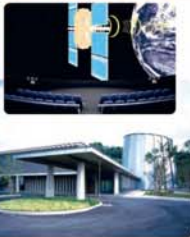


きつ科学館ふおとん

「光」をテーマにした日本で初めての科学館です。科学館では、太陽の光をはじめとする自然界のさまざまな光やレーザーなどの人工の光について、光の基本的性質から最先端の光利用技術まで、体験を通じて楽しみながら学ぶことができます。1階には本学・学研コーナー、光の再発ゾーン、光の技術ゾーンなどがあります。人気の映像ホールでは「光の自然現象」「光を放つ生物たち」「アインシュタイントラベラー」など、光の不思議を探る「光の科学への旅」に出掛けることができる上映ソフトを観ることができます。  
 開館時間：10：00～16：30 住所：木津川市梅台8丁目1-6  
 休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）・12/28～1/3  
 料金：大人300円、高校生200円、小・中学生100円 お問い合わせ先：0774-71-3180



きつ科学館ふおとん / 独立行政法人 日本原子力研究開発機構 関西光科学研究所 MAP-D-4



独立行政法人 日本原子力研究開発機構 関西光科学研究所  
 これまでに開発した先進的レーザーを活用した医療分野への応用やナノテクノロジー、バイオテクノロジーに新たな展開が期待できる最先端科学の研究を行っています。

学研都市は、近畿圏が集積してきた学術研究機能、産業機能、都市機能を活用しながら、関西の文化学術研究拠点をネットワーク化し、全国、世界の学術文化研究機能との連携・結合を目指しています。また、木津川市には、全国的にも珍しい体験施設や多くの研究施設が立地しています。

財団法人地球環境産業技術研究機構 (RITE) MAP-A-1



地球温暖化対策における中心課題であるCO<sub>2</sub>削減に向けて、革新的産業技術開発を推進するために、国際的な産官学連携の下で1990年に設立されました。CO<sub>2</sub>の分離回収・中貯留技術、バイオリファイナリ等の研究開発、削減シナリオ等の政策研究を行うとともに、研究成果・収集した関連情報の国内・海外への情報提供を行っています。

財団法人国際高等研究所 (IIAS) MAP-A-1



同志社大学 (学研都市キャンパス) MAP-A-1

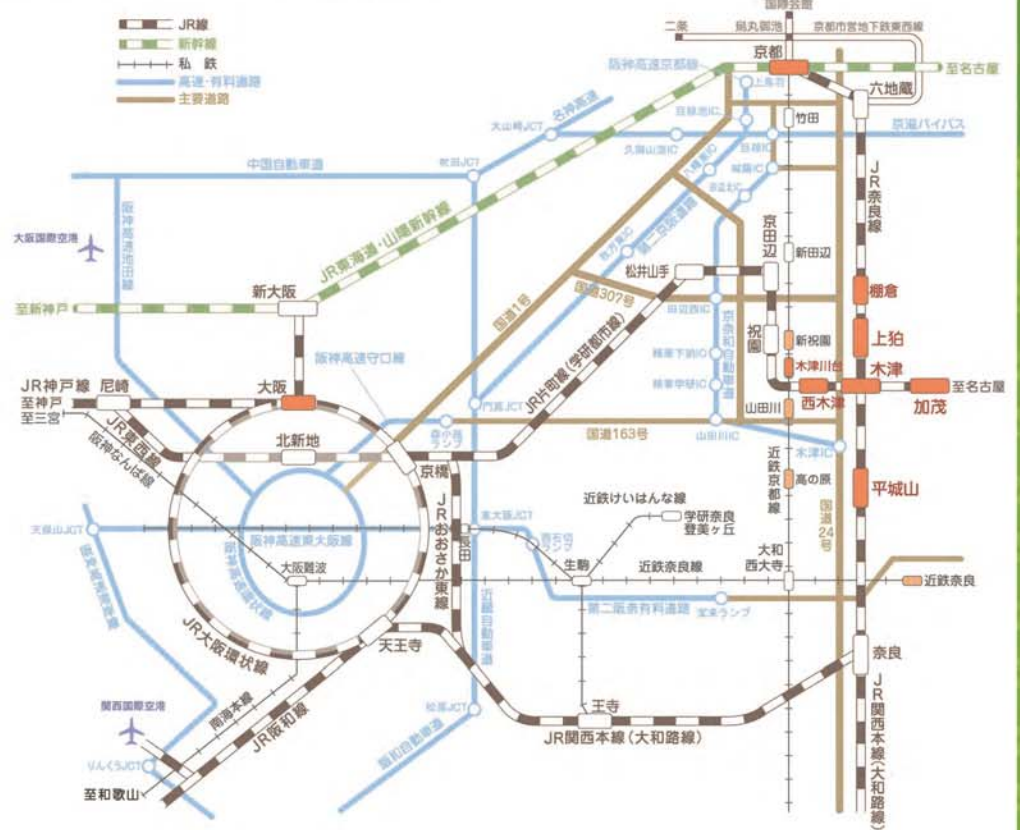


国際高等研究所は、産・学・官の支援のもと、1984年に財団法人として設立されました。従来の学術分野や世代を超えた知の交流型蓄積により、未知の学術の領域に新たな学術の芽を探し、次の世代に向けた学術の芽を見つける活動を中斷することなく、近未来の人類の発展に対して継続的に学術の芽を育てて供給することにより、我が国の学術研究の発展に貢献することを目指しています。

同志社大学5番目のキャンパス。敷地面積50,000㎡、建物面積8,500㎡の用地を、医工連携を含む新たな理工系研究施設として活用。今後、関西文化学術研究都市や近隣医療法人との共同研究、地域住民との交流を図り、21世紀に求められる新たな学術フロンティア開拓の拠点を目指しています。

※「きつ科学館ふおとん」以外の施設は公開していません。

## 木津川市へのアクセス



**鉄道利用の場合**

- 京都駅から 約35分**
  - 京都駅→(JR奈良線快速)→木津駅
  - 京都駅→(近鉄京都線急行)→高の原駅
- 大阪駅から 約60分**
  - 大阪駅→(JR大和線)→木津駅
  - ※北新地駅→(JR東西線・片町線(学研都市線))→木津駅 (約70分)
- 新大阪駅から 約70分**
  - 新大阪駅→(地下鉄御堂筋線)→大和難波駅→(近鉄奈良線)→西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅
  - 新大阪駅→(JR京都線)→大和駅→(JR大和路線)→木津駅
- 大阪国際空港から空港バス 約80分**
  - 大阪国際空港→(空港バス)→JR奈良線→(JR大和路線)→木津駅
  - 大阪国際空港→(空港バス)→近鉄奈良線→(近鉄奈良線)→大和西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅
- 関西国際空港から(JR阪和線・環状線) 約90分**
  - 関西国際空港→(JR阪和線)→天王寺駅→(JR大和路線)→木津駅
- 関西国際空港から(南海線・近鉄線) 約90分**
  - 関西国際空港→(南海線)→大和難波駅→(近鉄奈良線)→大和西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅
- 関西国際空港から空港バス 約100分**
  - 関西国際空港→(空港バス)→JR奈良線→(JR大和路線)→木津駅
  - 関西国際空港→(空港バス)→近鉄奈良線→(近鉄奈良線)→大和西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅

**車利用の場合**

- 京都駅から 約35分**
  - 京都→(阪神高速・第二京阪)→八幡東IC→(府道他)→田辺北IC→(京奈和自動車道)→山田川ICまたは木津IC
- 京都駅から 約50分**
  - 京都→(国道1号または24号)→城端IC→(京奈和自動車道)→山田川ICまたは木津IC
- 大阪駅から 約50分**
  - 大阪→(阪神高速・第二京阪)→奈良→木津川市
  - 大阪→(阪神高速)→草小路→(国道163号)→木津川市